

CASBEE-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	寄居工場完成車プール立体駐車場	階数	地上2F
建設地	埼玉県寄居町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	4地域	年間使用時期	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の実施日	基本設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	作成者	鈴木
敷地面積	780,551 m ²	確認日	2018年9月29日
建築面積	10,510 m ²	確認者	鈴木
延床面積	20,945 m ²		
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ラインサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	
		2-3 大項目の評価(ルーチャート)	

BEE = 1.1 ★★★★★ A:★★★★ B:★★★ BEE=1.0

S:★★★★★ A:★★★★ B:★★★ BEE=1.0 C:★

標準計算
 30%:★★★★★ 60%:★★★★★ 80%:★★★★ 100%:★★★
 ①参照値 #DIV/0!
 ②建築物の取組み #DIV/0!
 ③上記②以外の #DIV/0!
 ④上記① #DIV/0!

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の指標を一般的な建築物(参照値)と比べたラインサイクルCO₂排出量の目安を示したものです (t-CO₂/年・㎡)

Q1 室内環境
 Q1のスコア = 0.0

Q2 サービエ性能
 Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)
 Q3のスコア = 3.2

2.4 中項目の評価(ルーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境
 Q1のスコア = 0.0

1	音環境	温暖環境	光環境	空気環境
2	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.
3	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.
4	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.
5	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

LR 環境負荷低減性
 LR1 エネルギー
 LR1のスコア = 0.0

Q2 サービエ性能
 Q2のスコア = 2.7

1	操作性	耐用性	対応性
2	N.A.	2.3	3.2
3	N.A.	N.A.	N.A.
4	N.A.	N.A.	N.A.
5	N.A.	N.A.	N.A.

LR2 資源・マテリアル
 LR2のスコア = 2.6

1	水資源	非再生材料の	汚染物質
2	N.A.	2.5	3.0
3	N.A.	N.A.	N.A.
4	N.A.	N.A.	N.A.
5	N.A.	N.A.	N.A.

Q3 室外環境 (敷地内)
 Q3のスコア = 3.6

1	生物環境	まちなみ	地域性・
2	N.A.	3.0	3.0
3	N.A.	N.A.	N.A.
4	N.A.	N.A.	N.A.
5	N.A.	N.A.	N.A.

LR3 敷地外環境
 LR3のスコア = 3.1

1	地球温暖化	地域環境	周辺環境
2	N.A.	3.8	3.2
3	N.A.	N.A.	N.A.
4	N.A.	N.A.	N.A.
5	N.A.	N.A.	N.A.

3 設計上の配慮事項

総合
用途に適した、形の中で最小限、最低限になるような設計とした

その他
無し

Q1 室内環境
 室内環境無し

Q2 サービエ性能
 サービエ性能無し、設備の更新は化粧材がほとんどない為、仕上げ材を傷めず更新できる

Q3 室外環境 (敷地内)
 建築物を個所以外には大きな影響がないような形とした。

LR1 エネルギー
 外気なし、冷暖房無し

LR2 資源・マテリアル
 給排水無し、なるべく有害物質を含まないもので施工する予定とした

LR3 敷地外環境
 敷地外に騒音影響が無いような計画とし、換気、空調、給排水が無く燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■QC: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ラインサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のラインサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 寄居工場完成棟準7-15木材貯蔵庫

■使用評価でエネルギー/CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

基本設計段階

配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
◎ 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル				-	-	3.0	-	
1.2 遮音				-	-	3.0	-	
1		開口部遮音性能		-	-	3.0	-	
2		界壁遮音性能		-	-	3.0	-	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	-	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	-	
1.3 吸音				-	-	3.0	-	
2 温熱環境								
2.1 室温制御				-	-	3.0	-	
1		室温		-	-	3.0	-	
2		外皮性能		-	-	3.0	-	
3		ゾーン別制御性能		-	-	3.0	-	
2.2 温度制御				-	-	3.0	-	
2.3 空調方式				-	-	3.0	-	
3 光・視環境								
3.1 昼光利用				-	-	3.0	-	
1		屋光率		-	-	3.0	-	
2		方位別開口		-	-	3.0	-	
3		屋光利用設備		-	-	3.0	-	
3.2 グレサ対策				-	-	3.0	-	
1		屋光制御		-	-	3.0	-	
3.3 照度				-	-	3.0	-	
3.4 照明制御				-	-	3.0	-	
4 空気質環境								
4.1 発生源対策				-	-	3.0	-	
1		化学汚染物質		-	-	3.0	-	
4.2 換気				-	-	3.0	-	
1		換気量		-	-	3.0	-	
2		自然換気性能		-	-	3.0	-	
3		取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-	
4.3 運用管理				-	-	3.0	-	
1		CO ₂ の監視		-	-	3.0	-	
2		喫煙の制御		-	-	3.0	-	
Q2 サービス性能				-	0.43	-	-	2.7
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	3.0	-	
1		広さ・収納性		-	-	3.0	-	
2		高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-	
3		バリアフリー計画		-	-	3.0	-	
1.2 心理性・快適性				-	-	3.0	-	
1		広さ感・景観		-	-	3.0	-	
2		リノベーション		-	-	3.0	-	
3		内装計画		-	-	3.0	-	
1.3 維持管理				-	-	3.0	-	
1		維持管理に配慮した設計		-	-	3.0	-	
2		維持管理用機能の確保		-	-	3.0	-	
2 耐用性・信頼性				2.3	0.50	-	-	2.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2		免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.0	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数		3.0	0.25	-	-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.25	-	-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	-	-	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		-	0.25	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.25	-	-	
2.4 信頼性				1.0	0.20	-	-	
1		空調・換気設備		-	-	-	-	
2		給排水・衛生設備		1.0	0.50	-	-	
3		電気設備		-	-	-	-	
4		機械・配管支持方法		-	-	-	-	
5		通信・情報設備		1.0	0.50	-	-	

